

## 第10回ラジオ番組審議委員会議事録

日時：2024年9月3日（火）14:00～15:30

場所：天草ケーブルネットワーク(株)3F会議室

出席者

審議委員 岡部委員長・中村委員・田中委員・江浦委員・橋本委員・江崎委員 参加6名  
欠席3名 総数9名

市役所オブザーブ 秘書課広報広聴係 尾崎係長、情報政策課 泉主任、  
防災危機管理課 栗林防災監

天草ケーブルネットワーク(株) 西村社長、佐々木常務、松岡本部長、芥川部長、  
小山アドバイザー、事務局（ラジオ制作課）：藤川、池田

### 1. 開会

2. 事務局：今回初めて出席される中村審議委員より自己紹介  
市役所各オブザーバー自己紹介  
佐々木常務 自己紹介

### 3. 岡部紀夫審議委員長挨拶

委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 4. 事務局より「近況」が報告された。

### 5. 番組審議

#### (1) 災害発生時の放送【8月8日：日向灘沖地震発生時、8月29日：台風接近時】

災害対応放送に切り替えた内容を聞いてもらい審議を行った。

- ・緊急放送で動揺するのはわかるが、言葉（センテンス）を切りすぎるから聞きづらい。
- ・天草は広い。本渡にいて、牛深・崎津などの状況がわからない。（地域によって被害状況が異なる）
- ・停電してる地域の案内は良かったが、現地でのレポートなどを入れてはどうか。
- ・各地域の状況を伝えるリポーターをLINEや電話で事前に募っておくとよい。
- ・「火を止めてください」「車を止めてください」など、具体的でわかりやすいアナウンスだった。
- ・他局にはない天草に特化した情報で良かった。
- ・台風時、放送に影響はなかったか？

事務局) 今回 局舎周辺において停電による影響等は無かった。また、停電発生時はUPS

(無停電電源装置)及び自家発電施設があるため、数時間は放送可能。

- ・御所浦の避難所に避難していた。隣の家族がみつばちラジオを流していたが、全避難者向けに各避難所で流してはどうか。
- ・地域的に電波の弱い地域がある。どういうところが弱いかわかっているか？  
事務局) 福連木地区や山間の谷間など。また、道の駅、港など屋内に入ると電波が入りずらくなるのも調査済みで、市役所と調整している。
- ・船の交通情報はありがたい。
- ・船舶会社を営んでいるが、当日は楠浦沖に避難していた。
- ・報道が大袈裟という風潮を感じる。(当局ではなく)
- ・事実を正確に放送してほしい。
- ・防災行政無線とラジオを共用できないのか。  
市役所) 残念ながら防災行政無線の個別受信機にラジオ受信機能はありません。

## (2)「みんなのタイム」

### ①牛深ハイヤが源流となった鹿児島早ハイヤ 徳島の阿波おどりについて

- ・鹿児島にもハイヤ系民謡があるとは驚いた。こういう郷土芸能音楽をラジオで広げていければ好ましい。
- ・各地区のハイヤはワクワクした。地域の言葉・方言も入れれば、ますます親しみがわく。

### ②民話(下浦の話)

- ・下浦の江浦の話。(初めて知った)
- ・高齢者を対象者とした番組と感じた。
- ・最近の子どもたちは童謡を知らない。
- ・学校とタイアップしてはどうか。
- ・幼稚園保育園児の季節の歌を復活してはどうか。
- ・番組の企画の着眼点はよい。
- ・早めにお題の番組を出してもらって。1度全編を聞いてから会議に臨ませてほしい。

## 6. その他

- ・天気予報 気象庁の原稿を読むだけでなく、いろんな地域や漁師の方などに現地から読んでもらってはどうか。交通情報もしかり。
- ・自主番組の比率は？  
事務局) 約50%です。
- ・夏休みの子どもパーソナリティーはよかった。  
どんどん自信がもてて、いいアナウンスになっていった過程が垣間見られた。

以上 活発な意見交換があり、15:30 閉会した。